



奥能登ふるさとを思っていたただける皆様へ



能登町商工会 会長 数馬 嘉雄

昨年7月に「東京奥能登応援団だより」第1号が発刊されてから10ヶ月が経過しようとしています。

能登町商工会は、平成18年4月に、旧能都町、内浦町、柳田村の3町村商工会が合併し誕生3年目を迎えました。

商工会を取り巻く環境は能登地区のみならず日本の地方全体の問題であります。少子高齢化から小規模零細企業は後継者が不在となり廃業が目立ち大変厳しい状況にあります。

このような厳しい現況下であります。能登町商工会としては、商店街に「元気が出る」活性化を取り戻すべく地域の活性化に取り組んでおり、昨年7月19日から10月26日まで「能登ふるさと博」を実施し、期間中の9月14日ランプシェード「あかりフェスティバル」を実施、10月16日には「大相撲能登場所」が開催され2千人超の大入り満員となり大盛況でありました。その際遠くは、東京、千葉、名古屋、滋賀等の各県から能登出身の方々がふるさとを思い大相撲観戦を兼ね帰郷されて、良い思い出になったことでしょう。

昨年12月14日今年で第4回の「のと寒ぶりまつり」を実施しました。「能登寒ぶり」は富山氷見の寒ぶりより良質で

高い評価を受けています。

商工会の大きな事業として、平成17年度から取組んでまいりましたJAPANブランド育成支援事業で「能登の醸し」ブランド発信事業を推進してきました。昔懐かしい「いしり」能登の伝統的な発酵食品である魚醤「いしり」をブランドとして今年の2月9日～11日には東京国際フォーラムで開催された世界料理サミットの会場で、世界の一流シェフの皆様「いしり」紹介しました。

又、私たち商工会は、町内イベントにも積極的に参加し、お祭りの宝庫である能登地方とりわけ当町には、5月小木の伴旗まつり、7月宇出津あばれ祭り、松波人形きりこ祭り、恋路の火祭り、8月鵜川にわか祭り等々沢山のお祭りがごぞいます。ふるさとのお祭りが目に浮かんでくることでしょう。

わが町における地場産業の一つとして今一度お知らせしておかねばなりません。それは「能登の醸し」ブランドとして、能登杜氏の地酒があります。石川県で開発された酒米「石川門」から醸造した日本酒、又日本酒で醸造した「うめ酒」、海洋深層水を利用し醸造した日本酒等現在3社が夫々の特色を活かし地域の活性化のために頑張っております。

東京奥能登応援団の皆様には、能登・東京便が開港6年目を迎え「ふるさと」が大変近くなりました。四季を通じ多彩な行事、豊富な海の幸・山の幸で、ゆっくりおくつろぎいただければと思います。

最後に、東京奥能登応援団の今後益々のご隆盛を心よりお祈り申し上げ、ごあいさついたします。

「東京奥能登応援団のホームページ」を開設いたしました。アドレスは <http://okunoto.net> です。

アイデンティティ

「土徳」の里・能登 ②

奥能登の地形は低い山々が宝立山と山伏山を頭にしながらだらかに海岸へ延びている。そのあわさいで田畑を耕し、山の幸・海の幸を得て、真協遺跡に象徴される縄文の頃から奥能登人は自然の恵みの中で暮らしてきた。春には緑を呼び、鳥・花・山菜を提供し、秋は木の実・茸・彩色を運んでくる。しかも、深閑とした冬期を含めて四季折々の海産物を与えてくれるのである。文字通り里地里山と里海が織り成す稀有な風土である。

今でも帰郷すると、奥能登人は自然の中の一員として生きていくと強く実感するのである。季節により晴れた日には、東に立山連峰を仰ぎ、佐渡を遠望できる。半島の先端に立てば、昇る朝日も沈む夕日の美しさも拝めるのである。仏典「天台本覚論」の中に「草木国土悉皆成仏」という言葉がある。ここには草、木、国土という鉱物や無機物にいたるまで総ての物に仏性があり仏となるという思想がある。こうした考えは、子どもの頃、古老達が「山や川や海は人間のように生きている。古くから神が宿り仏も住んでいる。いや、神仏そのものだから大事にしくちや」と語っていたことに通じるのである。これを単なるアニミズムだ、非科学的だと一蹴してはならない。最新の地学、生物学、生理学などは恐るべき論証の可能性を示唆するのである。

とにかく、奥能登には人間中心主義ではない、万物の生命を尊重する考えが脈々と伝承されてきたものではあるまいか。それが証拠に「能登はやさしや土までも」と言われる。奥能登には自然と人間とが一体となって汚れない清らかさと温もりの情愛が堆積したからに違いない。

奥能登人は、何十世代にもわたって、眼に見えない力で育む仏意の大きさに包まれながら、誰も彼もが知らず知らずの内にただそのままだに仏の育てに預かる力で生きてきた。このような在り様を、民芸家柳宗悦氏は「土徳」と造語している。まさに奥能登は慈悲深さと情けあり、その意味で確かなる「土徳」の里である。

西に山ある人は山上に、また、西に海に開ける人は海上に、あなたへ沈む夕日の方向に夢・浄土をイメージして生きたDNAを私たちは受け継いでいる。

(押上武文〈府中市・宝立町出身〉)

できごと

東京石川県人会

東京石川県人会「総会・新年祝賀会」を開催

石川県人会は、1月25日東京・紀尾井町のグランドプリンスホテル赤坂で平成21年度総会と新年祝賀会を開催した。祝賀会は約170人が出席し、石田寛人会長が「石川のために出来ることを工夫し、首都圏で石川の存在感を発揮しよう」とあいさつした。珠洲から参加した泉谷満寿裕市長は、祝辞の中で「マグロ蓄養事業が開始され地元への期待が大きい」「首都圏のロッテリアで北海道のポテトに珠洲の塩が付いて販売されているのは是非味わってみたい」とあいさつした。前田利祐名誉会長の乾杯の発声で懇親会となった。真智石川県人会副会長、谷東京珠洲会会長や越川俊治氏、本田ゆり子さんが泉谷市長を囲んで歓談、特別出演の新川二朗さんの歌などを楽しんだ。



石川県人会理事會

東京石川県人会は、3月4日紀尾井町ラウンジ春秋で開催した平成21年第1回理事會で、マグバス公演観劇行事を行うことと県人会活動の拡大を目指し会員の募集（年会費3,000円）を行うことを決めた。マグバス公演観劇の日程は10月11日（日）午後4時30分からで、観劇後希望者で懇親会（和倉温泉）を開催する。（マグバス参加希望者及び県人会会員入会希望の方は事務局まで）電話 03 (35556) 1414 FAX 03 (35556) 8113

石川県交流会準備会の開催

石川県と実行委員会とは3月20日アルカディア市ヶ谷で交流推進会を開催した。推進会には珠洲会、飯高同窓会、奥能登応援団が参加し「平成21年首都圏交流会」を七月〜八月アルカディア市ヶ谷で開催することを決めた。

話題

ふるさと奥能登を唱う演歌CD発売！

3月25日キングレコード歌手・ササキホコさんの「能登の岬で」が発売されました。（CD番号KCC1226）
曾々木在任の藤平朝雄さん作詞の曲で千年橋、恋路、キリ「まつ

り、禄剛崎など珠洲の情景が読み込まれています。
ふるさと会で歌ってみませんか！

東京で見附島が見える！？

銭湯背景画絵師中島盛夫さんが描いた見附島が都内で2ヶ所あります。

○練馬区 ニュー銭湯和倉（男湯）

（初代経営者高瀬豊男さんは旧富来町出身）

○台東区 寿湯

ふるさと自慢

珠洲かるた

珠洲青年会議所（理事長 和田丈太郎）は「誇りの持てる地域」の創造を趣旨に「珠洲郷土かるた」を作成しました。読み札は市内を中心に公募し、取り札は市内の小中学校の生徒達が描いた可愛い絵から審査しました。観光地や歴史施設、文化財、特産品などふるさと自慢が読み込まれています。



- さ 例さ杉 弘法大師の 箸のあと 若山町 春田厚子
み 見附島 七タキリコが 乱舞する 宝立町 谷口幸宣
ら ラベンダー 香りただよう ハケ山 正院町 高山泰子

若山町出身の坂口靖幸さん（幸東） 角界入り

東洋大相撲部の坂口靖幸さん（22歳）が大相撲の玉ノ井部屋に入門、3月の春場所です初土俵を踏んだ。186センチ、155キロの大型で元大関栃東親方の期待も大きい。
春場所の成績は二勝四敗でした。頑張ってください。

郷土力士の成績

位置	力士名	部屋	春場所成績	本名
西幕下二六	玉大輝	片男波	二勝五敗	久山 毅
東幕下五九	松緑	阿武松	五勝二敗	藪下哲也
東三段目六二	駿馬	間垣	四勝三敗	中板秀二
東三段目六八	能登桜	阿武松	四勝三敗	島 和也
西三段目六九	寺下	阿武松	全休	寺下隆浩
西三段目七七	三瀬	玉ノ井	三勝四敗	三浦功太

「すずろものがたり」 (昭和33年2月発行から)

今は昔のはなし・ほそかわ秋堂 (その二)

(炉端、焚き火にあたりつつ声を出して読んでください)

—— 正院町川尻、新保貞吉氏談 ——

世の中ア変わってしもたやのけ……。此所の山畠（川尻、不動山畑、黒滝要害に続く）でもおらの若い時ア（明治廿年頃）いちめんに瓜と西瓜ばかりのけ……。こりあ、あんた、この川尻のもんでなけや、誰もこのへんに作りかた知らんがで川尻の一手販売やったわけ。「ヨッショ、ヨッショ」ざるにかたんで松波さま（松岡寺）や、鵜飼さま（妙厳寺）も引上会の朝じ（晩天勤行）迄に持つてって、ほれからすぐに走り戻って又アざるをかたんで畫まいるのすむまでに運んで売ったがやぞけ……。ほれから下浦の方は折戸のまいりにけ……。ところが三崎を通る時、宇治や引砂の在所に止められて……。あつらへんの人のコッスイのにア、はやはやいわってしもたもんやけ「おれにも売ってくだッし、おれにも、おれにも……今ぜん（銭）もってくるぞけ」ほんなことを云って、あんた、前かけに三ツも四ツも入れて……。あの在所の小路にはいつてもわからんがなるがやんけ……いわってしもたわけ。

ほや、ほや、あの狼煙の角田さんへ呼ばれてはいると、あんた、たつた一つの瓜でも部屋から部屋にとりついで、奥の床の間の主人さまのおゆるしを待つがやつたぞけ……。やつぱり天子さまやつたやがろかネン。

ほれから、あんた、よいよ、西瓜でも出来たさえにあ畠の中に一間四方ほどの番小屋たてて蚊帳吊って、角燈とほいて夜番するがやつたわけ。ほして櫓の板吊つとくがやつたぞけ。ほれでもコッソリ野あらしに



来る若いもんどもにア、いわってしもたわけ……。「ほーりや来たッ」とわかると、この板叩いて「来たぞーッ」とわめくとあつちの畠からもこつちの畠からも「来たぞーッ」「カンカンカンカン……」にぎやかなもんやつたぞけ。わるさする若いもんでて只ほんなことするが面白かつたがけ。ほかのじぶん「おかど」てて明星さまや神保さま、沢田さま新田さまなぞ、あんた何人も何人も若いもんどもをやとつたがやがネ。このおかど連中はみんな馬小屋のあまたかにスベや藁まつこつて寝たがやぞけ。ほしては外の若い衆らちこ面白半分相談しては、わるさしたがやのけ……。

(次号につづく)

能登半島を彩る 深紅の旅物語

のとキリシマツツジ「深紅の旅」はいかがでしょうか

能登半島の各地で古くから植栽されている能登キリシマツツジが5月上旬、燃えるような深紅の花が一斉に咲き誇ります。各家の庭で大事に手入れされていますが、開花の期間、庭を一般に解放しています。観賞してみませんか。

のとキリシマツツジフェスティバル 5月3日～4日 能登空港 盆栽展示・苗木即売など

◎お問い合わせ先

能登キリシマツツジ連絡協議会 鳳珠郡能登町天坂乙1-字83 0768(76)0247

珠洲商工会議所 珠洲市飯田町1-1-9 0768(82)1115



[珠洲市三崎町・猿見田邸]



[珠洲市正院町・前邸]



[珠洲市若山町・末政邸]



[珠洲市大谷町・池上邸]
(石川県指定天然記念物)



[珠洲市正院町・桜井邸]

♥ ブライダル話題 ♥

能登での記念の結婚式いかがですか

大谷の鯉のぼりフェスティバル

4月25日～5月10日 大谷町

・大谷町では、五月大谷川に飾る鯉のぼりを募集しています。タンスの中の眠っている鯉のぼりがありましたら是非お送りください。

◆ 鯉恋結婚式 5月3日(日)

大谷公民館：担当 助光

Tel fax 0768(87)2222 まで



◆ 千枚田 結 婚 式

平成 21 年 9 月 27 日 (日)

輪島市千枚田

お問合わせ 輪島市観光課



とも旗祭り〔能登町小木〕(5月2～3日)



あばれ祭〔能登町宇出津〕(7月第1土曜日)

◎ふるさとの行事(春・夏)

4月17日～19日 曳山祭(500年の伝統行事) 能登町宇出津
5月2日～3日 小木伴旗まつり(県指定無形文化財) 能登町小木
7月3日～4日 あばれ祭り 能登町宇出津
7月20日～21日 飯田燈籠山まつり 珠洲市飯田町
7月25日(土) 人形きりこ祭り 能登町松波
7月27日(月) 恋路の火祭り 能登町恋路

頑張る奥能登人

昭和四一年(1966年)飯田高校卒・団塊世代のお三方からの寄稿です。

● 松木 茂雄 (東松山市在住 へ上戸町出身)

◆ 略歴等

1973年…(株)アドバンテスト入社(業種・半導体試験装置関連)

2002年…ASシステム事業部長

2006年…(株)アドバンテスト九州システム(所在地 福岡県北九州市)

代表取締役社長就任

● 趣味 ゴルフと、最近スケッチを始めました

◆ 続きたい故郷との関わり

高校卒業と同時に東京へ出て来て以来、今年で43年も経ってしまいました。

現在、福岡県の北九州市に赴任し、3年経過中ではありますが、北九州は海に近く、景色も良く、魚も新鮮、また日本海に面しているとして珠洲の上戸出身者としては、風土的には何か生まれ育った能登に近いなあと時々感じることがあります。私は、平均すると3、4年に1回のわりに能登に帰省しております。その度に必ず朝早く起きて上戸の浜辺に行き、見附島から蛸島の海岸線をしばらく傍観しながら、いつも何か落ち着くものがあり「気分」も癒され、やっぱり「原風景」が私のどこかに潜んでいると実感させて頂いております。

今回、「寄稿」するようになった経緯をお話させてもらいます。私は、能登から出て来てずっと埼玉県に住んでおりますが、関東在住の飯田高校卒業



昨年10月に弊社から北九州高等専門学校へ電子計測器を20台寄付したときの写真です。一緒に写っている方(左側)は、高専の校長さんです。

の同窓生とは、この約40年間継続的に年数回「三同窓会」等を開いて、仕事を離れたその時々で楽しんでおります。話題の中心は、いつも故郷に関連した近況で盛り上がるのが毎度のこととなっております。最近では、少しずつ世代や世相を反映して「ふるさと納

税」をはじめとして、何かできないかが時々話題として出るようになり、仲間のMさんが「奥能登応援団」と関わりを持たれたこともあって、今回の寄稿依頼を私が受けさせてもらいました。

我々団塊世代にとって、「一生懸命働いて来た最終章」を無事勤め終わった人、まだもう少し踏ん張っている人等様々であります。私も例外でなく、「第二の人生」をこれから楽しむために準備も始めなければと思いますが、何かで生まれ故郷と関わり続けたいと思いますし今回の寄稿で何かのきっかけにでもなればと考えております。それぞれの「微力」の集合を基にして、「アイディアを出す人」、「実行する人」、「それを送り届ける人」、「受け取る人」、「結果を連絡する人」等の「志のある人」がどんな形でも参加できるネットワーク型ルートを作る案もあるかと思っております。そのために、我々仲間が「心身共に健康」であることが、何をする上でも第1条件であることは言うまでもありません。

● 船本 純治 (蓮田市在住 へ宝立町出身)

◆ 略歴等

1970年12月

山武計装(株) 入社

同大阪支店、山武ビルシステム(株)東京本店、同名古屋支店

2007年 4月

(株)山武ビルシステムカンパニー本店

(所在地 品川区東品川) 常務サービス本部長

● 趣味 ゴルフ

◆ 故郷の思い

故郷珠洲を後にして早45年になるうとしております。田舎に育った年月の2.5倍の時間を東京という魔物の世界でひっそりと費やしてきました。その間、闇雲に生きてきたところがあるが実感で、果たして何を残したのか何が残ったのかと問われれば……言葉も無い。



この年になると田舎での17年間の暮らしが何をしていたのかと思ひ出すのも定かではなくなりましたが、海の情景を季節ごとに早朝・昼間・夕方と思ひ浮かべたとき、あのときに戻ればなと思わ

ずには居られないときがあります。特に真冬の珠洲湾越しに見る立山連峰の目にしみる光景は忘れることが出来ません。最近七夕祭りも一層田舎帰りの思いを強くします。こうして何とか元気に暮らしました、旧友との語りいで17年間の懐かしさが味わえることに少なからず喜びがあります。

人生の終盤を皆さんと楽しく語り合いたいものと念じております。

行事案内

● 「東京珠洲会」総会

5月24日(日) 13:00 御徒町・池田屋

会費5,000円

参加申し込みは、谷克巳会長

TEL 03(3682-01) 0540 まで

● 洋画家 岡崎洋児氏 ピエゾグラフ展

8月3日(月)～9日(日) 10:00～20:00(最終日17:00)

ギャラリー八重洲 東京

※珠洲焼き展示もあります

お問い合わせ先

珠洲市狼煙町カー58

TEL 0768(86)2680

● 宝塚歌劇団観劇

6月20日(土) 宝塚歌劇団宙組東京公演観劇会

観劇後「珠洲春希さんファンクラブ交流会」

● 珠洲物産展(仮称)

6月20日(土)～21日(日)

板橋区大山 ハッピーロード商店会

(主催 珠洲市商工会議所・協力 珠洲市、能登すずなり)

事務局から

関西でも、奥能登応援団を発足させようとの動きがあります。「誰か故郷を思わせる……」の歌詞ではありませんが、故郷を離れて奥能登の良さが再認識されるのでしょうか。元気な能登を期待する皆さんの気持ちがつうりのように全国の出身者に広がることを期待し、東京からもエールを送りたいと思います。皆様からも関西のお知り合いに是非お声を掛けていただきたいと存じます。

2月4日奥能登広域圏事務組合事務局 坂本秀八氏、3月12日能登すずなり(旧珠洲観光協会) 紺谷岳寿氏の来訪を受けました。奥能登から期待されていることが実感されます。出身者一人一人が応援団であり、観光大使でもあると思います。皆さん大いに奥能登を宣伝してください。